

常任委員会による先進都市

行政視察

各常任委員会で所管する事項について、先進地の取組状況を視察しましたので報告いたします。

ごあいさつ・11月定例会

総務市民委員会

10月21日～22日

働き方改革推進プラン



大阪府寝屋川市

寝屋川市では、定員適正化計画に基づき、計画的に職員数の縮減に取り組むとともに、職員の働き方改革による生産性の向上とワーク・ライフ・バランスを実現するため、独自の「寝屋川市の働き方改革」を推進しています。この改革の実現により、優秀な人材の確保につなげることで、持続的に成長する組織体制を構築するとともに、より質の高い市民サービスを提供できる体制の整備を目指しています。

完全フレックスタイム制の導入やICT活用等の働き方改革により時間外勤務を減らし、総人件費を変えずに人員の増を図る手法は先進事例として大いに参考となるものでした。

行政経営・方針管理の取組



兵庫県小野市

小野市は、「理念なくして意識改革なし、意識改革なくして行動なし」という基本理念の下、新たな自治体経営に力を入れております。全国一律ではなく、主体性のある自立した自治体を目指しています。

また、市長の方針を実現するための仕組みを方針管理制度として確立し、職員の意識改革を行うことで組織力の強化につなげています。

一律の給料カットはせず、事務事業の見直しや民間委託の促進、多様な人材の活用により職員数を減らすことで、総人件費の削減を実現しており、業務の効率化や見直しの重要性を再確認する大変貴重な機会となりました。

産業教育委員会

10月22日～23日

不登校児童生徒への支援体制



栃木県宇都宮市

宇都宮市では、子供たちが安心して過ごすことができるオンラインの居場所「U@りんくす」により、不登校児童生徒の支援を行っています。ICTやメタバースを活用した支援は、従来型の別室登校や家庭訪問に比べて心理的ハードルが低く、子供が安心して参加できる仕組みになっており、アバターを用いた交流や季節演出など、子供が自然に関わることができる工夫が随所に見られました。また、保護者が家庭で見守りながら参加できる点も安心感につながっています。

職員体制やICT環境の制約などの課題がありますが、富士市でも検討する価値があるものでした。

スポーツを活用した地域活性化



栃木県

栃木県では、大会・イベント誘致、スポーツ合宿誘致、テーマ別スポーツツーリズム推進、スポーツと観光の融合、県民共同による推進の5本を柱に取組方針を掲げ、スポーツを活用した地域活性化に結びつけています。特にテーマ別スポーツツーリズムでは、自転車やゴルフなどを重点分野とし、地域資源を生かした大会を企画しています。また、旅行業者向け視察ツアーや練習試合マッチングといった新規施策や、企業とチームを結ぶ「とちぎプロスポーツハブ」の設置など、大いに参考となる施策でした。

そのほか、群馬県高崎市にて、「かがやけ新規就農者応援給付金について」を視察しました。

福祉保健委員会

10月28日～29日

子育て支援施策



宮城県栗原市

栗原市では、子育て世代の定住促進に向け、「子育てに優しい街 栗原。(ピッカリはら!)」をスローガンに、医療費助成や出産祝い金、給食費無償化など、子育て世帯へ手厚い支援を行うとともに、子供・子育て世帯を中心としたまちづくりが進められています。出生数の大幅回復には至っていないものの、保護者アンケート等では高評価を得ており、市独自の拡充策の継続により定住意向を高めっていました。

経済的支援、心理的支援、地域的支援を三位一体で展開する栗原市の取組は、切れ目のない子育て支援の重要性と自治体の創意工夫による施策の可能性を感じさせるもので、大いに参考となるものでした。

健康医療先進都市の取組



山形県山形市

山形市では、市長の強力なリーダーシップの下、健康医療先進都市のビジョンを掲げ、市民の健康寿命延伸に向け、様々な施策を戦略的に進めています。そのうち健康ポイント事業SUKSK(スクスク)では、アプリを核に企業や地域の協力を得ながら健康に寄与する様々な活動へポイントを付与することで、市民全体の意識・行動の変容を促していました。この結果、健康寿命延伸や要介護2以上の認定者数減少などの効果が見られたとのことです。

本市においても、ターゲット層や健康課題を明確化し、マーケティング手法を駆使して戦略的に施策を進める必要性を感じました。

建設消防委員会

10月28日～29日

雨水利活用の取組



東京都武蔵野市

武蔵野市では、地形的に大きな流末河川がなく、雨水、汚水処理等を下流域の自治体にお願いしなければならない状況から、「小さなことでもできることをやろう」という意識が昔からあり、平成8年から雨水浸透施設の設置促進に取り組み、平成24年には「武蔵野市雨水の地下への浸透及び有効利用の推進に関する条例」を制定し、個人の住宅への雨水浸透施設設置の際に助成金を交付することで、新築住宅への設置率がほぼ100%に達するなど、成果を挙げています。

本市においても、行政と市民が一体となり「小さなことでもできることをやろう」という意識で取り組んでいくことが重要なと実感しました。

パークインオベーション



東京都足立区

足立区では、公園ごとの個性に乏しい、配置に偏りがある、現在のペースでは全てを改修していくことができないといった課題を解決するため、「だれもが“お気に入りの公園”を見つけられるように」をスローガンに、魅力ある地域の公園と持続可能な公園運営を目指し、公園の機能を分ける、機能・規模ごとにバランスよく配置するなど、大きな取組を進めています。

本市の今後の公園整備において、大変参考となる先進的な取組でした。

そのほか、神奈川県相模原市にて、「用途地域等見直しの方針について」を視察しました。

ごあいさつ・11月定例会

常任委員会の審査等

一般質問一覧

特集

常任委員会視察

議会広報委員のページ